

3月号

あさのがわ

2013年 3月14日発行

みやちくじちしんこうかい 広報

宮地区自治振興会 甲賀市甲南町野川818 甲南第三地域市民センター内
電話 0748-86-8518 FAX 0748-86-8519

	事業および会議	開催日	備考
1	地域の宝お祝い事業 (入学式)	H24. 4. 9	第三小
2	総会	H24. 4. 28	43名 来賓:市長他
3	子ども会研修旅行 姫路セントラルパーク	H24. 5. 5	117名
4	農 林 部 会 獣害対策研修会	H24. 6. 2	関係者26名
5	「命のバトン」事業 検討会議	H24. 6. 27	関係者32名
6	「滋賀の宮村」復刻版 打合せ	H24. 8. 23	岡田先生+ 五役
7	甲南第三学区運動会	H24. 9. 16	500名
8	命のバトン事業	H24. 9~	188本配布
9	わくわくフェア打合せ	H24. 10. 30	関係者9名
10	忍 に ん 寄 席 下野川公民館	H24. 11. 23	120名
11	わくわくフェア	H24. 12. 8	380名
12	宮のお宝再発見事業 琵琶湖博物館視察	H25. 1. 29	役員 7名 市職員3名
13	農 林 部 会 獣害対策研修会	H25. 2. 7	関係者 16名
14	健康福祉部会 人権会議	H25. 3. 9	関係者 17名
15	地域の宝お祝い事業 (卒業式)	H25. 3. 19	第三小
16	理事会	17回	
17	宮のお宝再発見事業 運営会議	3回	五役+ 市担当課
18	五役会	ほぼ毎週	
19	広報「あさのがわ」 発行事業	通 年	6回発行
20	飛び出し坊や設置事業	通 年	10本
21	宮の宝誕生お祝い事業	通 年	2年分11人
22	「滋賀の宮村」の歴史 に学ぶ事業	通 年	

季節は厳しい冬から、確かな春の足音が聞こえる一年で一番充実した季節になろうとしています。

宮地区自治振興会も二年を経過した今、季節の巡り合わせ同様に、ようやく順調に動き出し、地域の皆様にも、活動内容や、その意義が浸透しつつあると考えております。

この二年間、初代自治振興会の会長という重責の元、地域の皆様の温かいご支援と優秀なスタッフに囲まれ、充実した時間を過ごさせていただきました。

宮地区自治振興会では子ども会研修旅行、第三学区運動会、忍にん寄席、そしてJA様と共催のわくわくフェアの四大事業を柱とし農業面では獣害対策に特に力を注ぎ、子どもたちの明るい笑顔を宮の宝と考え、お誕生お祝いや、小学校の入学式や卒業式

式にもお祝の品を差し上げています。安心して暮らせる宮地区にするために、「命のバトン」の取り組みや、飛び出し坊やの購入、緊急避難マップの作成など企画考案して参りました。また豊かな暮らしに向けて、「滋賀の宮村」の復刻版の発行や、古い道具類や写真、地域に残る昔からの伝えなどを、伝承していきたいと考えています。「広報あさのがわ」を通し、自治振興会の活動内容や、地域の良さを発信して参りました。区長会で決められた生活改善への呼びかけにも賛同し協賛して来しました。

新しい期が始まります。新しい理事さんでさらに志の高い自治振興会の運営をお願いしたいと存じます。この二年間、私も宮の良さをより沢山知る事が出来ました。本当にありがとうございました。

二年を終えて

宮地区自治振興会会長 西本恵一





平成24年度 宮地区

執行部・事務局



事務局長 中野 和彦

毎週月曜日の午前中に五役会を開き、組織の活性と充実のため、その時点、時点で精査を繰り返しながら修正を図り、自治振興会の運営をスムーズに行えるよう取り組みました。市の情報を把握して自治振興会として必要な情報には担当者を理事会に招き、説明をいただきました。

広報活動は、2ヶ月に1回「広報あさのがわ」の発行を中心に、取り組んで参りました。自治振興会の活動内容を発信するためだけでなく、出来るだけ、季節感あふれる地域の話題や行事をふんだんに載せるよう努力しました。

また広報紙に加え、インターネットのホームページやブログの制作も急がれるところですが、スタッフ不足のため未整備のままです。来年度には地域内でホームページや、広報作業を支援出来る人を探し、紙面の充実と、ホームページの作成を図りたいと考えています。皆様のご協力をお願いします。

「宮のお宝再発見事業」として市からの独自の補助金と、市の「歴史文化財課」、先日視察させていただきました「琵琶湖博物館」に指導を仰ぎ、宮の風土に合わせて作られた道具類を中心に明治から現代に至る生活用具や農具などを資料化していきたいと考えています。

安全安心部会



部会長 奥田 照男

本年度の取り組みの中で、地域安全パトロールの実施では、学校職員、保護者の方をはじめ、各種団体、地域の皆様のご協力により、子どもたちが安心して登下校出来るよう見守っていただいています。

飛び出し注意看板では、本年度も“にんじえもん飛び出し看板”を購入しました。甲南第三小学校、育友会と連携し危険箇所や、老朽化したものを順次交換設置していただいています。

防災マップ作りについては、先進地の防災マップを参考に、「消火栓」、「ホース格納庫」、「防火水槽」、「消防ポンプ庫」、「避難所」などすぐ分かるマップ作りを企画検討中です。

緊急時の対策として、各区において自主防災組織や、自警団組織により活動されています。それらを集約して宮全体の広域な対策組織図や役割担当を進めているところです。

「命のボタン」を冷蔵庫内に保管していただいています。緊急時に、より分かりやすいよう、保管ケースを冷蔵庫の前面に簡単に取付可能なマグネットケースを購入し、お配りしました。

地震等災害時、水道がストップした場合、宮地域では井戸のあるご家庭が数々あります。飲料水として供給可能な井戸の水質検査調査を考えています。

農林部会



部会長 山川 芳範

サルやイノシシによる獣害は、農業の維持継続や生産意欲の減退だけでなく、集落機能の維持にまで影響する大変重要な問題です。

ここ数年前までは、他人事のように聞いていましたが、昨今の状況を見ると、宮地域でも他人事ではなくなってきました。

そういった状況の中で、農林部会では、行政をはじめとする関係者と集落が一体となって実施されている「集落環境点検」の支援を行いながら、サルの追い払いのお手伝いをさせていただきました。各区に3名以上で組織した「追い払い隊」によりまして、強力花火による追い払いを実施いただいているところです。

その結果、宮地域でのサル確認日数は、前年に比べ一年を通じて28日少なくなったという報告がありました。これからも「赤い帽子の追い払い隊」の活躍を期待しています。それぞれの集落でもより強力なサル追い払い隊の結成が広がりつつあるようで、農林部会の取り組みが地域に貢献出来た結果だとうれしく思います。

また、耕作放棄地の解消に向けた取り組みや、地域特産物への取り組みについても検討していくことが、これからの課題となっています。

(上の写真はサル追い払い隊に着帽してもらう帽子です)

自治振興会の活動報告



地域振興部会



部会長 望月 正人

地域振興部会では、「忍にん寄席」を11月23日にリニューアルされた下野川公民館で中嶋市長さんを始め多数の観客の参加をいただき、桂坊枝さんら三名の落語家が得意の演題で会場を笑いの渦に引き込みました。

また、「わくわくフェア」は12月8日にJA宮店兼、甲南第三地域市民センターで開催され、各区やJA等の関係団体のご協力により、模擬店や特産物コーナー等を実施し、多く区民の方にお集まりいただきました。さらに、今年から各地域の桜へのポンボリ提灯の設置支援を行いました。今後は桜並木の更新や新しい桜の名所の開拓なども検討したいと考えています。

部会の名前でもある「地域振興」の将来構想「宮の将来を考えるまちづくり」として、里山の再生、過疎対策の住宅団地の誘致、交流事業の充実などの問題についても関係する各部会や各関係団体等と連携して、問題点の洗い出し等の取り組みを進めたいと思いますので、皆様のご理解とご協力よろしく申し上げます。

健康福祉部会



部会長 森岡 光良

健康福祉部会では、少子高齢化が進むなか、宮の宝である子ども達を地域で、はぐくみ育てるということから、めでたく誕生されましたお子様へのお誕生お祝事業を実施しました。赤ちゃんの名前や足形、誕生時の体重などを手彫りしたガラス製のフォトメモリアルスタンドを自治振興会スタート時までさかのぼりお渡ししました。成長・飛躍を願い小学校への、入学・卒業時にもささやかな品物ですがお祝いを贈らせていただきました。

今年度は、子どもたちの地域との交流、社会勉強の場になるよう、「姫路セントラルパーク」への子ども会研修旅行を実施しました。当日の安全を考慮し事前に下見も行い万全の体制で臨み、事故なく終える事が出来ました。

今後も、高齢化が進むなかで、お年寄りの不便解消や、子どもたちが少なくなりつつあるなか子育てされている保護者の世代、障がい者やその家族など「人権」を踏まえた活動、それぞれの立場で奮闘する地域の皆様に世代を超え支援出来ればと考えています。

各世代、各々が主人公になれる宮地域となれるよう取り組みたいと考えております。

文化体育部会



部会長 中野稔之

宮地域には多くの伝統文化・行事や文化財があります。そして、何よりもこれからの宮の未来を支えてくれる子どもたち、います。

今年度は短期計画の2年目となり、昨年を引き続き、宮地区の将来を見据えたまちづくりができるよう取り組んでまいりました。

甲南第三学区運動会は体協を中心に、学区民の親睦・融和を図ることを目標とし日常生活に潤いを与える行事となるよう取り組みました。好天気の中行われた運動会は、小学生の練習を重ねた演技や、懸命に走る姿に感動し、区の名誉をバックに張り切る選手の皆様に大きな手と笑顔が場内に広がりました。

また、「宮のおもしろマップ」作成につきましては、情報収集の準備段階であります。「宮のお宝再発見事業」や「滋賀の宮村」復刻版発行事業とリンクして、区民の皆様の情報をまとめ、宮の誇りや生きがいを実感できる作品の作成を進めていく予定です。

今後も更に、区民のニーズに目を向け、きめ細やかなまちづくりを目指し、「宮に住んでよかったな」と思える事業を展開して行きたいと思っております。

宮のお宝 誕生お祝い事業



奥嶋 瑛作 ちゃん(上野川)
(H24年9月28日誕生)
亮平・景子夫妻 第一子

我が家に天使がやってきました!
奥嶋家の第一子となる男の子で、
"瑛作(えいさく)"と名付けまし

ん。
生まれてからはスクスクと健康に
成長してくれていることに感謝、感
謝の毎日です。

よく笑い「ハウ!ハウ!」と話しかけ
てくれるので「ハウちゃん♥」や
「えいちゃん(*▽*)」、「えいちゃ
く♥」などと呼んでいます。

春から上野川で生活を始めます。
たくさんの人と触れあいながら育
ってくれたらうれしいです。地域の方
にはお世話になりますが、親子
共々よろしくお願いします。(^^)v

(先日、自治振興会より記念品を
贈らせていただきました。)

おじいちゃん、おばあちゃんのお知恵を拝借!

宮地域には、多くの文化財や、歴史にまつわる昔話、
謂われ(いわれ)、伝統(地域)行事などが沢山あります。
お正月のお飾りやお盆の家庭での行事なども、地域や家
ごとに違っているようです。「今はやめたけど前にはして
いたよ」なんてことも含め、自治振興会では、「宮地区ま
ちづくり計画」に基づき「宮おもしろマップ」の作成の
ための準備に取り掛かりました。2月より区長さんを通
じて資料収集等をしてい
ます。区民の皆さんが知っ
ておられる色々な分野で
の情報提供などにご協力
をお願いします。



太子堂(上馬杉)

広報より募集!のお願い!

広報「あさのがわ」では、元気な赤ちゃんや子どもたちの
写真、いろいろな催し物の写真や記事を募集しています。お
家に咲いた珍しい花や、ペットの写真もOK!

自分ではうまく写真が撮れない方は、市民センターにお電話
ください。取材に駆けつけます。地域の皆様も紙面を活用し
てください。

広報やホームページの制作に関わって
いただけるスタッフを募集しています。
自薦他薦を問わず情報をお願いします。



市民センター便り

市民センターからのお知らせです

電話 86-8518

北田

西尾

万一の交通事故に備えてご加入を

滋賀県市町村交通災害共済

年間掛金	1人につき500円
申込期間	平成25年2月1日~
共済期間	平成25年4月1日~平成26年3月31日 ※途中加入も可能です。
申込場所	甲南第三地域市民センターでも受付中



…編集を終えて…

ご愛読ありがとうございます。「楽しく読
んでますよ」とか「大変ですね」「ご苦勞様」
とねぎらいのお言葉を私個人宛にしてい
ただけるようになりました。うれしい限りで
す。2年間、今回で12回目の発行です。創
刊号から見直すと気になるのはやっぱり、
「誤字脱字」失敗した所には特に目が行き
ます。工夫して作った紙面を見ると誇らし
くも感じます。ほかの自治振興会の広報を
見ると、印刷屋さんを使った本格的なもの
から、手作り感あふれる広報までいろいろ
あります。宮の広報が一番好きって言われ
るよう頑張ってきました。これからもご支
援いただきますようお願いいたします。